

広報させば 情報カレンダー 04. 6月



日	月	火	水	木	金	土
		1 水道週間～7日 「人権擁護委員の日」特設相談所の開設	2 中小企業金融公庫出張相談	3	4 歯の衛生週間～10日	5 動物獣舎探検隊
6 動植物園誕生祭 デンタルフェスティバル	7 早岐茶市・梅市～9日	8 出前保育「みんなよっぴー」(16日、7月9日も)	9	10	11 発明相談	12 市中学校体育大会～14日
13 親子ふれあいイベント(20日、7月4日も)	14	15	16 市幼児教育センターの子育て講演会 市立総合病院の健康教室	17	18 育児講座 市中学校体育大会(水泳競技)	19 動物獣舎探検隊(7月3日も)
20 カブトムシの飼育教室 パールクイーン・パパママサンセットクルーズ	21 佐世保空襲写真展～29日 市立図書館が休館～30日	22 女性の悩み相談所の開設	23	24	25	26 させば男女共同参画週間フォーラム
27 国民健康保険の日曜相談 総合グラウンドプールをオープン	28	29 佐世保空襲死没者追悼式	30	アイマックスドームシアター・フィルムフェスティバル(6月1日～6月30日、西海パールシーセンター) あの生き物をもう一度・・・展(5月29日～9月5日、西海パールシーセンター)		
7月の主な行事予定 7/4 市少年の主張大会 7/10 佐世保っ子育てパレード				毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談(13～15時、佐世保商工会議所) 毎月第2金曜 発明相談(10時～15時30分、市役所商工労働課)		

救急・火災
医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999
エイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談
青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第2、4木曜の17時30分～20時30分には、夜間相談も受け付けます)

女性相談
スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)
6月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます
月 おならがが多い 火 肺がん
水 二番目の子どもができた 木 メガネを買うときの注意 金 心的外傷後ストレス障害(PTSD) 土、日 手術によらない前立腺肥大症の治療

人のうごき (5月1日現在)

総人口 239,491人(+1,470)
男 112,807人(+1,028)
女 126,684人(+442)
世帯数 93,907世帯(+950)

4月中のうごき

転入 2,780 転出 1,316
出生 172 死亡 166

見て、聞く させば 市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ

NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



初めまして 西野 賢治です

～技術担当の助役に 就任しました～

4月1日付けで、国土交通省九州地方整備局企画部企画調整官から本市助役に就任しました。技術担当として、農林水産部、都市整備部、土木部、港湾部、水道局、

契約監理室などを担当します。

佐世保の印象について「海と山に囲まれ自然が豊か。また、都市計画に基づいて街が整備され、地方都市の中でも街づくりがしっかりしています」と語ります。

西野助役は、大阪府高槻市出身の44歳。京都大学大学院修士課程を修了後、旧建設省に入省。平成11年8月から同13年3月までは、九州地方整備局長崎工事事務所長として、西九州自動車道佐世保道路の事業に従事するなど、これまでも佐世保にゆかりがありました。「長崎工事事務所にいた3年前に比べると、佐世保駅周辺再開発事業により、駅周辺や港が随分変わりました。今後は、西九州自動車道佐世保道路の残りの区間の一日も早い開通を目指し、住民の意見を聞きながら、地元で喜ばれる道路が整備されるよう調整していきたい」と抱負を語ります。

趣味は読書やジャズ鑑賞という西野助役は、現在単身赴任中。

歴史散歩 467

いちきしまひめのかみ せんざ 市杵島比売神の遷座(相浦町)

平成15年11月、相浦港に臨む小高い金比羅山の後ろに、新しい県道佐世保鹿町線が開通しました。大瀧町のカトリック相浦教会前から棚方町まで約3キロの部分です。この開通を機に、港の沖の焼島に祀られていた市杵島比売(姫)神と八重事代主大神が、金比羅山に遷座されました。

浜町町内会会長の川口恭一さん(78)によると、春の例祭には、氏子が船を仕立てて参拝していましたが、不便だったので本土に遷座したということです。金比羅山は、古くから金比羅大権現が航海安全を念じて祀られてきたのでその名があり、昭和30年代まで港を展望する相浦名物の料亭「金比羅荘」が営業し、にぎわっていました。太平洋戦争前までは公園として親しまれたものです。



また、金比羅神社も、新道北側に遷座しました。市杵島比売は、福岡県宗像郡田島に千数百年の昔から鎮座する宗像三女神の一人で、辺津宮の主神です。玄海灘の孤島・沖の島に鎮座する田心姫と、大島の中津宮の湍津姫が三女神で、「道主貴」として広く交通安全の神としても信仰されてきました。三宮のいずれも国の史跡や重要文化財に指定されています。

相浦・焼島の鎮座がいつかは不明ですが、鎌倉時代(1192～1333年)以後、御家人宗像大宮司家として壱岐を含む長崎県内にも多くの領地を持っていたので、この九州西岸の拠点として相浦の一部を領有し、その証として市杵島比売神を祀ったものかもしれません。

室町時代、中国大陸貿易の足がかりだったとも思われます。(筒井隆義)

